

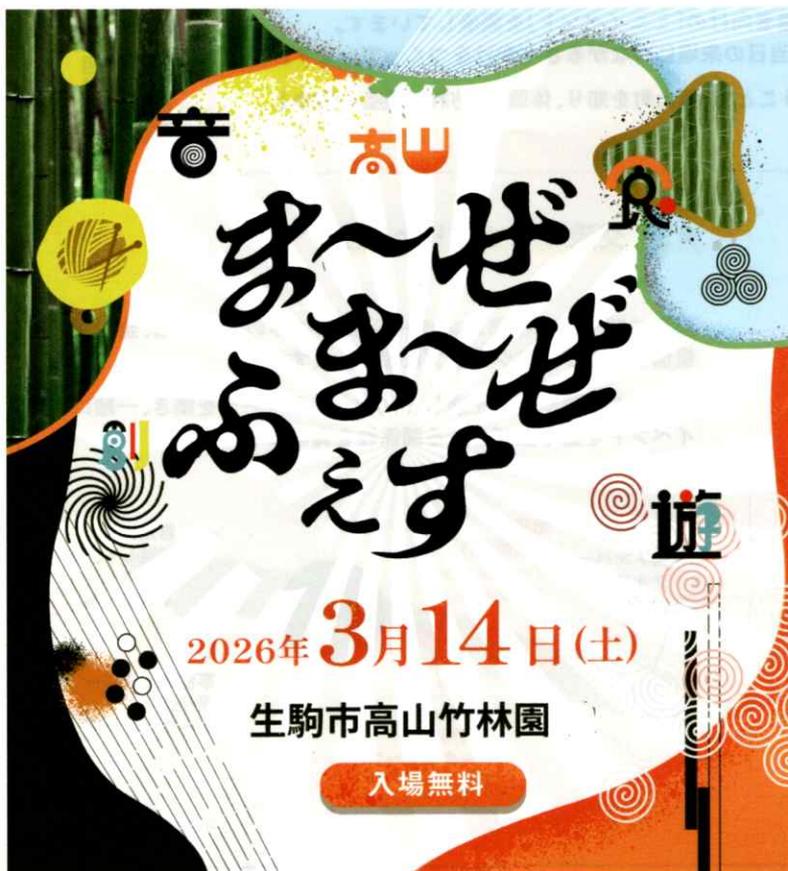
2回目開催!

みんなで創り上げる、超一体型フェスティバル!

高山ま〜ぜま〜ぜふえす 2026

主催：生駒市 / 受託：株式会社ミーティング

2024年に誕生したイベント「高山ま〜ぜま〜ぜふえす」を、今年度も開催いたします。
 地元のみなさまに、このイベントに込めた思いや取り組みを知っていただきたく、本案内をお届けします。



ま〜ぜま〜ぜふえすってどんなイベント?

- ★生駒市高山町の地域活性化を目的としたイベント
- ★アート・アクティビティ・フード・ステージなど様々なジャンルが混ざり合って出店
- ★事業者は出店するだけでなく、イベントの企画や運営にも関わり、交流会を含むワークショップに参加することで、人と人が混ざり合う場を一緒につくります

どうして「ま〜ぜま〜ぜ」?

高山町が誇る名産品「茶筌」。
 茶筌は、お茶とお湯を混ぜ合わせ、美味しさを引き出すための道具です。

その「調和させ、引き立て合い、新たな価値を生む」という役割に着目し、高山町を盛り上げるイベントのコンセプトへとつなげました。

「ま〜ぜま〜ぜ」は、その想いを合言葉に、誰もが親しみを感じられるよう名付けています。

**人が、商品が、コンテンツが、
 そして魅力が混ざり合い、
 新たな価値が生まれるイベント**

ワークショップや催事をした背景と目的は?

本イベントは、「高山振興ワークショップ事業」の一環として実施するものです。この事業は、「高山町をもっと知ってもらいたい」という思いを持った方からの寄付金をもとに誕生しました。

高山町内だけでなく、町外の人々と協力しながら、高山地域にある魅力や資源を活かした催しを行うことで、高山町へ訪れる人を増やし、地域のにぎわいを作ることを目的としています。

また、イベントの企画・運営を通して、関わった人たちが今後も継続して催しを開催できるよう、将来的に地域主体で自走していける体制づくりを支援することも、この事業の大切な目的としています。

昨年度はどんなふうに高山とコラボしたの?

高山町の竹で作った子どもが遊べる遊具(写真左)やアートのワークショップ、高山町の食材を使ったフードメニュー(写真中)、廃棄茶筌を使って書道をするワークショップ(写真右)などが行われました。



イベントの最新情報は、WEBサイトやInstagramをご確認ください。

公式WEBサイト



公式Instagram



昨年度からどう
ブラッシュアップ
されたの？

- より地元高山町の方、地域外の方に知っていただくため、広報を強化。
高山町民向け説明会(2025年10月17日実施済み)やSNS広告、公式SNSの更新を続けています。
- 交通の利便性向上のため、学研北生駒駅～高山竹林園までのシャトルバス運行を予定しています。
- ま～ぜま～ぜふえす当日までの期間に、高山町内でミニイベント(★1)を開催します。
町を知るきっかけを増やし、「高山町のファン」を広げていくとともに、地域の方が一緒に盛り上げられる機会を増やす仕組みづくりを行います。
- 今後も継続して開催できるイベントを目指し、自走できる体制づくり(★2)を進めています。
事務局メンバーや出店者の交流の場づくり(★3)も強化しました。

★1 ミニイベントとは？

12月から3月上旬にかけて、イベント当日へとつなげる一般来場者向けの「ミニイベント」を開催しています。
ま～ぜま～ぜふえす参加事業者が、それぞれ企画・運営を行い、当日の来場につながるきっかけをつくっています。

高山町内外のお店や企業がイベント当日より前から催しを行うことで、高山町を知り、体験し、訪れる機会を増やし、高山町およびま～ぜま～ぜふえすのファンを育てていきます。

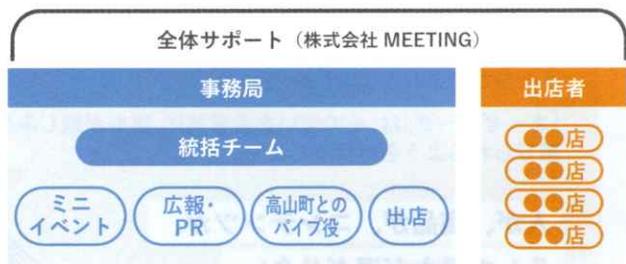
ミニイベントの
詳細はこちら



★2 自走できる体制づくりとは？

将来的には、市や委託企業のサポートに頼らず、地域内外の有志のみなさまが主体となって運営を続けられる仕組み(=自走化)をめざしています。

そのため今年度から、各事業者で構成する事務局を中心に、出店者全体をサポートしながら、運営の流れやノウハウを共有し、次回以降につながる体制づくりを進めています。



★3 交流の場づくりとは？

運営に関わる事務局メンバーも、出店者のみの参加者も、全員が最低2回のワークショップに参加します。

イベント準備や交流を通して人的ネットワークを築き、一緒にイベントを盛り上げられる関係性を育みます。



高山町の
資源とは？

高山茶釜や竹編み針といった伝統工芸品、竹や自然に囲まれた風景、あたたかい町民のみなさま。高山竹林園や高山八幡宮などの身近な名所も、この町の大切な魅力です。

都会に近いのに自然が豊かで、サイクリングやランニングにも心地よい環境があり、カフェや雑貨店、アーティストの工房も点在しています。
美味しい農産物が豊富な一方で、サイエンス分野にも力を入れるなど、新しい取り組みも根づいています。

伝統と新しさが自然に混ざり合う高山町。
そんな町にあるたくさんの魅力をコンテンツとして編み直し高山町の魅力を伝えるため、昨年度に引き続き「高山ま～ぜま～ぜふえす」を開催いたします。

最後に

高山ま～ぜま～ぜふえすの運営・サポートをしている株式会社ミーティングです。
私たちは「物事を、物語を。」をビジョンに、ブランディングや企画、広報、イベント運営などを行っています。
高山町の魅力を、みなさまと一緒に「ま～ぜま～ぜ」しながら、より多くの方に伝えるため、精一杯尽力いたします。
3月14日(土)は、ぜひ高山竹林園へお越しいただけますと幸いです。

<https://meeting.co.jp/> MEETING

イベントの詳細や最新情報は、公式WEBサイト・Instagramをご確認ください。

ま～ぜま～ぜふえす